

山梨県で学校の先生になろう！（先輩教員の声）



学校名 山梨県立かえて支援学校

教諭 雨宮 志穂美

令和4年度採用

教科・科目 保健体育

山梨県出身

◆教員を志した理由

教員という仕事は、かかわった生徒の人生を左右する大切な役割があると感じています。生活の大半を学校で過ごす生徒にとって、学習面はもちろんのこと、集団とのかかわり方や、人間性については学校での学びがとても大切になります。そうした人間性の部分を丁寧に教えたいと思い、教員を目指そうと決めました。また、ご縁あり、期間採用時に特別支援学校で働く中で、生徒の一生懸命学習に励む姿や、できなかったことができるようになっていく姿を間近で見る経験をしました。多くの感動を体験し、特別支援学校の教員を目指そうと決めました。

◆教員の「やりがい」や「魅力」等

私が一番やりがいを感じる瞬間は、生徒の『できた！わかった！』が見え、一緒に喜びや感動を味わえるときです。特に支援学校は、自分の気持ちが上手く伝えられなかったり、様々なことに対して苦手意識が強く活動が難しかったりする生徒も多く在籍しています。しかし、そんな生徒達と試行錯誤しながら挑戦していくことで、できるようになっていく過程を間近で見ることができたり、一緒に喜べたりするのはとてもこの仕事の魅力だと思います。そうした瞬間は年に何度かありますが、この仕事をやっていてよかったと心から感じ

ることができます。しかし、それと同時に、生徒の大切な時間を預かっているということを肝に銘じ、自分自身の言動には責任を持つことで、生徒や保護者から信頼される教員でいたいです。

◆先生になって「楽しかったこと」や「感動したこと」等

楽しかったことは、毎日生徒の新たな一面を発見できることです。例えば、新しい言葉を覚えて急に使ってみたり、不思議なダンスをしてみたり、大人っぽいことを言ってみたり・・・と、こちらがクスクスと笑ってしまうことが多くあります。また感動したことは、大きな行事（林間学校や修学旅行、学芸会など）をやり切った時に、生徒の成長を強く感じ、涙が出そうになります。こちらが想像していた成功の、さらに上の成果を上げてくるので、一生懸命取り組んでやり遂げた姿は本当に感動します。そういった生徒の姿を見て、私もまた頑張ろうと思えます。

◆学校の先生として心がけていること

心がけていることは、礼儀やマナーなど人として大切なことを自分自身が丁寧にすることを意識しています。生徒たちは、日々私たち教員のことをよく見ています。教員が生徒の一番の見本となるように自分が発する言葉や行動は意識しています。また、その他にも、私自身、苦手なことを伝えたり、なにか失敗してしまった姿は生徒にできるだけ見せたりしています。学校生活を通して『誰にでも失敗はある。まずは挑戦してみることが大切』ということや『人それぞれの良さがあって、得意なこと苦手なことがあっても大丈夫。自分らしくいい。』ということが生徒に伝えられるようにしています。



◆わたしの学校（職場）の雰囲気

私の学校は、先生方が100人超えのとても大きな学校です。若手の先生方からベテランの先生方まで、たくさんの先生方がいらっしゃいます。生徒指導のことで困ったことがあれば親身になって相談に乗ってくださったり、日々の生徒たちの成長について気さくに話したりすることができます。大きな学校ですが、一人一人の先生たちが生徒のために奮闘している先生方が多く、明るくパワフルな雰囲気と共に、チームとして教育を行おうとする雰囲気があると感じます。

◆先生になる前とのイメージの違い

学生時代にイメージしていた先生とは違い、授業づくりや生徒指導、その他の業務等やることが多くあると感じます。自分が学生の時には、見えていなかった仕事量と大変さを実際に経験する中で、指導してくださった当時の先生方には、感謝と尊敬の気持ちでいっぱいです。

◆退勤後や休日の過ごし方（私のリフレッシュ法）

退勤後はゆっくりお風呂に浸かって、1日の疲れを取るのが私の日課です。お風呂に浸かりながら、好きなYouTubeを観たり、Netflixを観たりしてリフレッシュをしています。休日は、スポーツの指導をしているので、1日外に出て子供たちと一緒にスポーツをして体を動かしています。学校で生徒達のパワーに負けないように、自分の時間を上手く使い、心と体をしっかり整えるように意識しています。



◆雨宮志穂美先生の1日

出勤	6時に起床します。 出勤したら1日の流れと授業内容を確認します。
登校 朝の会	登校後、着替えや清掃の指導をしたあと、朝の運動でダンスやランニングを行います。また、家庭での生徒の様子を連絡帳で確認します。その後、朝の会を行います。
授業	午前は授業が2コマあります。毎日生徒がワクワクするような授業を考え、『わかった』『できた』などの姿が見えた時はとてもうれしいです。
給食 昼休み	給食指導を行います。1人で食べられる生徒もいれば摂食指導を必要とする生徒もいます。昼休みは、生徒と体を動かしたり、のんびりしたりとその日によって過ごし方が変わります。
授業	午後は授業が2コマあります。実態別にグループを分けたり、学年全体で行ったりといろいろな形で授業を行っています。
下校	トイレ指導や着替えを済ませ、帰りの会の準備をします。また、下校までに生徒の1日の様子を連絡帳に記入します。
放課後	放課後は、1日の生徒の様子を学年やクラスの先生と情報共有をしたり、次の日の授業の準備をしたりします。日によっては、会議や研修が入ることもあります。
退勤	

◆山梨県のよさ

山梨県の良さとして強く感じることは、周りの人を大切にしているところだと感じます。私自身、今まで3校での経験がありますが、どの学校へ行っても周りの先生方が優しく指導してくださったり、学校以外のことでも気さくに話してくださったりする先生方がとても多いと感じます。学校現場に限らず、家族や友達を大切にしている人や、困っている人がいたら助けようとする人が多いと感じることがよくあります。地元ということもあるかとは思いますが、山梨県で過ごしているととても温かい気持ちになり安心します。

◆山梨県の学校の先生を目指す方へのメッセージ

私自身、教員になって後悔したことは今まで一度もありません。もちろん、大変なことも多くあるのは事実です。しかし、それ以上に教員という仕事をしていて自分のプラスとなることの方が多かったからです。教員という職業以外に、人の人生にここまでかわり、生徒と一緒に笑ったり、泣いたり、悩んだり、感動できたり・・・こんなにいろんな感情を味わったり、自分の指導や言動で、人を導いていけたりする職業はないからです。時には辛いことや、苦しいことがあるかもしれませんが、しかし、そんな時は周りの人が必ず手を差し伸べて助けてくれます。どんなことも自分の成長につながります。やっていてよかったと心から思える仕事なので、教員を目指す方々は、ぜひ自分らしくこれからも頑張ってもらいたいと思います。